

礼拝プログラム □主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 44番
- *交読文 …………… 58番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 25番
- 礼拝のための祈り ……… 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 …………… 326番
- メッセージ …………… 十字架の前の宴 - 最後の晩餐で制定された聖餐(ルカ 22:14-20)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 489番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

その血は____のお家で、____のために、しるしとなり、わたしはその血を見て、____の所を過越すであろう。わたしがエジプトの国を撃つ時、災が臨んで、____を滅ぼすことはないであろう。この日は____に記念となり、____は主の祭としてこれを守り代々、永久の定めとしてこれを守らなければならない。(出 12:13-14)

____は大きな苦難を通して来た者で、その衣を小羊の血で洗って白くしたのである。それゆえ、____は神の玉座の前にいて、昼も夜もその神殿で神に仕える。玉座に座っておられる方が、____の上に幕屋を張る。____は、もはや飢えることも渴くこともなく、太陽も、どのような暑さも、____を襲うことはない。

玉座の中央におられる小羊が____の牧者となり、命の水の泉へ導き、神が____の目から涙をことごとく／ぬぐわれるからである。(黙示録 7:9-17)

本日は教会暦では「しゅろの聖日(パームサンデー)」、すなわち、イエス様がろばに乗ってエルサレムに入城し、人々が衣服や「しゅろの葉」を置いて「ホサナ」と呼びつつ迎えた日で、その日を起点に、金曜までを「受難週」、そして次週主日は、主のよみがえりを祝う復活祭(イースター)である。本日は十字架の死を前に、主が弟子達にもうけた宴会、「最後の晩餐」にて、主が制定された「聖餐」をよく学びたい。

『イエスは彼らに言われた、「わたしは苦しみを受ける前に、あなたがたとこの過越の食事をしようと、切に望んでいた。』(15節) イエス様が弟子達と持たれた、最後の晩餐は、「過越の食事」である。過越祭は、主がイスラエルをエジプトから脱出させた事を記念する祭りである。エジプト脱出前夜、主は男子の初子を全て死に絶えさせる災いを降したが、ある事をした家は「死が過ぎ越し」、一人も滅びなかった。そのある事とは、傷の無い小羊をほふってその血を家の戸口に塗り、その家の中で「過越の食事」にあずかる事である。この小羊こそ、十字架上でほふられ、肉を裂かれ、血を流されたキリストを意味している。血のしるしの外では、死と滅びがあったのに対し、血の内側には、ごちそうと救いがあったように、十字架上でほふられるキリストを信じる者には、死と滅びは過ぎ越し、永遠のいのちと、ごちそうに与れるのである。

『あなたがたに言って置くが、神の国で過越が成就する時までには、わたしは二度と、この過越の食事をすることはない。』(16節) キリストは一度ほふられたが、二度とほふられる事は無い。過越はまだ神の国で成就しておらず、かの日に血潮の内にいるか、外にいるか、全ての人は、その選択をする時機にいるのだ。『キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられました。二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。』(ヘブル 9:28)

キリストが二度目に来る時は、彼を待ち望んでいる人の救いのために来られるのであって、もう一度十字架にかかるためではない。だから、一度罪赦され血潮で洗われたのに、相変わらず好き好んで罪を犯し、キリストを何度も十字架につけるような者には、もはや贖いの血潮は残されていない。(ヘブル 10:26)

『そして杯を取り、感謝して言われた「これを取って、互に分けて飲め。」…またパンを取り、感謝してこれをさき、弟子たちに与えて言われた、「これは、あなたがたのために与えるわたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい。』(17-18節) 神はイスラエルに過越を制定されたが、イエス様は私達に、パンと杯の聖餐を制定された。それも、イエス様を記念し、イエス様を覚えて行うように、と。聖餐にあずかる時、イエス様の裂かれた肉と、流された血潮とを、覚える事こそ、重要だ。罪を犯してきたかどうか、聖餐に相応しい・相応しくないではない。御体は罪を罰するために裂かれ、血は罪を清めるために流されたから。だから罪があるなら、いっそうキリストを覚えて、聖餐にあずかるべきだ。キリストは「取って食べなさい」と言われ、「飲みなさい」と言われた。イエス様が、いのちを差し出してまで、私達が食べられるように、また飲めるようになって下さった以上、断固、感謝していただくべきなのだ。

イエス様は、私達の身代わりになって、死なれた。感謝しても、し尽くせないものがある。私達は、キリストの流された血潮と、裂かれた肉にあずかる時、イエス様に対する感謝、恩、それをいつも覚えているだろうか。イスラエルの民が、一歳の傷の無い、かわいい盛りの羊を、自分達の身代わりとしてほふる時、血の生々しいしるしが門にあるのを見、その小羊を食べる時、感謝と申し訳無さに、涙があふれた事だろう。皆さんは、ほふられた小羊キリストが死なれた事の悲しさ、罪の身代わりになってくれた事の申し訳無さ、そして救われた事への感謝と喜びの「感覚」があるだろうか。キリストを覚えて、涙溢れた事はあるだろうか。その申し訳無さや感謝や喜びの「感覚」を味わう事こそ、キリストを味わう事である。

教会において、御言葉なるキリストを学び、キリストの素晴らしさをわかちあう時、あるいは、キリストの話題で盛り上がりながら共に食卓にあずかる時、その交わりは、キリストの血と肉を分かち合う、一種の聖餐のようなものである。しかしもしキリストを分かち合うべき交わりの場において、キリストをおぼえる事抜きで礼拝したり、飲み食いするなら、その飲み食いがその人をさばく事になる。(1コリント 11:17-34)

主キリストにある事をわきまえて、共に集い、共に恵みを豊かに分かち合う皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00
聖書の学び会(詩篇) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト